

事前相談票

ハウスプラス対応者：_____

ご相談日	平成 年 月 日
ご相談者の氏名	会社： 氏名： TEL - - FAX - -
建物の名称	
事業主（建築主）	会社： 氏名：
構造設計者	会社： 氏名： TEL - - FAX - -

1. 建物概要についてご記入お願い致します。（該当事項に 印をご記入下さい。）

建築場所	
建築物の用途	共同住宅・事務所・ホテル・店舗・その他（ ）
建築物の高さ （階数）	_____ m _____ 階建
延べ面積	_____ m ²
平面形状	_____ m × _____ m （ ）
構造形式	R C 造・S 造・S R C 造・その他（ ）
地盤種別	第 1 種・第 2 種・第 3 種（ ）
基礎形式	直接基礎・杭基礎・その他（ ）
制振装置の有無	あり ・ なし 間柱制振・壁制振・ブレース制振・オイルダンパー その他（ ）
免震装置の有無	あり ・ なし 鉛入り積層ゴム・積層ゴム・その他（ ）

2. 申請方法等についてご記入お願い致します。(該当する項目にご記入下さい。)

構造評定委員会 (基準法)	高さが60mを超える超高層建築物 (建築基準法第20条第一号の規定による)			
	超高層建築物以外の時刻歴応答解析を用いた建築物 (建築基準法第20条第二号口(第三号口、第四号口に掲げる場合も含む)の規定による)			
構造特別評価委員会 (品確法)	耐震等級 1-1	等級3 (1.50)	等級2 (1.25)	等級1 (1.0)
	耐震等級 1-2	等級3 (1.50)	等級2 (1.25)	等級1 (1.0)
	耐風等級 1-4		等級2 (1.2)	等級1 (1.0)
	耐積雪等級 1-2		等級2 (1.2)	等級1 (1.0)
任意評定委員会 (基準法)	評 価 申 請 理 由	1. 建築主・設計者が任意評価を希望		
		2. 地盤関係で検討が必要		
3. 特異な形状				
4. ペンシルビル				
5. その他				
設 計 法	従来の保有耐力計算+時刻歴応答解析のケース			
	保有耐力計算計算のみのケース			
	限界耐力計算でのケース			
	その他()			
着工予定日	平成	年	月	
希望する委員会	平成	年	月	
確認検査機関	ハウスプラス確認検査 その他機関()		特定行政庁 未定	
相談者から特別な事情等があればご記入下さい				

確認検査機関・・・住宅で品確法による性能評価を受けた物件に限りハウスプラスで受付可

建築物概要及び構造概要

評 価 番 号	HP 評 - 第	号	評価年月日	平成 年 月 日	
件 名	(件名は、建物を表す名称として下さい。 新築工事等は不可です)				
申 請 者					
設 計 者	一 般				
	構 造				
	監 理				
施 工 者					
建 築 物 概 要	建 築 場 所				
	用 途				
	面 積	敷 地 面 積	m ²		
		建 築 面 積	m ²		
		延 べ 面 積	m ²		
		基 準 階 面 積	m ²		
	数 階	地 上	階		
		地 下	階		
		塔 屋	階		
	高 さ	軒 の 高 さ	m		
建 築 物 の 高 さ		m			
最 高 部 の 高 さ		m			
基 準 階 階 高		m			
1 階 階 高		m			
地 階 階 高		m			
地 盤	基 礎 底 深 さ	G . L -	m		
	土 質 及 び N 値	設 計 用 G . L		設 計 用 地 下 水 位	
		G . L -	m	地 層	N 値
		~			~
		~			~
		~			~
		~			~
	液 状 化 の 有 無				
土 砂 災 害 特 別 警 戒 区 域 の 指 定	(指 定 な し 又 は 指 定 区 域 の 記 載 を し て 下 さ い 。)				

これは HP - 評第 6 号様式と同じものです。

構 造 概 要	基 礎 構 造	杭 種 別				
		杭 径				
		先 端 深 さ ・ 長 杭		材 料		
		許 容 支 持 力 度				
		杭 頭 荷 重 度				
	主 体 構 造	骨 組 形 式 別 種	地上階： 地下階：			
		耐 力 壁 他 そ の				
		柱 ・ は り 断 面 ・ 材 料				
		柱 ・ は り 接 合 部				
		床 形 式				
		非 耐 外 壁 力 壁 内 壁				
		構 造 上 の 特 色				
	免 震 材 料	鉛 プ ラ グ 入 り 積 層 ゴ ム 支 承				
		滑 り 支 承				
		オ イ ル ダ ン パ ー				
		変 形 制 限				
		そ の 他 特 記 す べ き 事 項	この欄は、免震構造の場合にのみ設けてください			

これは HP - 評第 6 号様式と同じものです。

構造検討概要書

構造検討概要	耐風設計	設計風力					
		設計用せん断力					
	耐震設計	地震力負担率					
		設計用せん断力係数	最上階		階		
			階		階		
			分布形				
	設計	採用地震波 最大加速度 (cm/s ²)					
	置換振動系	質点数振動型					
		固有周期		長辺方向 (X)		短辺方向 (Y)	
			T ₁				
T ₂							
復元力特性							
減衰マトリクス (減衰定数)							
応答結果	最大層間変位 (cm) ()内は 最大層間変形角	入力レベル	方向	応答値	階	地震波	
		レベル1	X方向	()			
			Y方向	()			
		レベル2	X方向	()			
	Y方向		()				
	最大塑性率	レベル2	X方向				
			Y方向				
	最大軸耐力比	レベル2	X方向				
Y方向							
偏心の影響							

これは HP - 評第 8 号様式と同じものです。

構造説明図

- ・「性能評価用提出図書」の主要構造図の図面を入れて下さい。
(意匠系の図面は不要です。代表的な図面を添付して下さい。A3でも可)